

MANDLINO-BRILLANTE

DODICESIMO CONCERTO DI MANDOLINO

マンドリーノ・ブリランテ第12回演奏会



練馬文化センター・つつじホール

2026.6.5

『ご挨拶』

本日は、マンドリーノ・ブリランテ第12回演奏会に、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。
2010年1月に、マンドリンクラシック音楽に魅せられた十数人で立ち上げたこの団体も、はや16年が
経ち、大きく育ちました。

これまで続けてこられたのも、ご来場の皆様や、団員家族のご支援の賜物だと感謝申し上げます。

かつて、マンドリン界の重鎮であった故中野二郎先生が、こんにちの演奏会演目で、古典マンドリンアン
サンブル佳曲を見る事がまれになったと嘆かれていました。

私たちは これらの埋もれかけた名曲を探しながら、これからも演奏活動が続けたいと思います。

今宵は、週末のお疲れのひと時を、マンドリンの響きで癒していただければ幸いです。

団長 石井尚治 / 団員一同

< プログラム >

第Ⅰ部

指揮

石井 明人

- | | | |
|---|-------------|--------------------|
| 1 | マチェラータ・マーチ | ウーゴ・ボッタキアリ |
| 2 | セレナーデ風ガボット | アメデオ・アマディ |
| 3 | ミレーナ | マリオ・マチョツキ |
| 4 | 凡ては去りぬ | イアサント・ラヴィトラーノ |
| 5 | 組曲「田園写景」 | サルバトーレ・ファルボ・ジアングレコ |
| | 第一楽章 タベの踊り | |
| | 第二楽章 小セレナータ | |
| | 第三楽章 祭りの朝 | |

第Ⅱ部

指揮

澤田 昇

- | | | |
|---|-------------|--------------|
| 1 | サハラのラクダ使い達 | ヴィットリオ・チェルライ |
| 2 | 組曲「中世の放浪学生」 | アメデオ・アマディ |
| | 第一楽章 放浪 | |
| | 第二楽章 愛のワルツ | |
| | 第三楽章 朝の調べ | |
| | 第四楽章 謝肉祭の行列 | |
| 3 | 黄昏 ～前奏曲～ | ディノ・ベルツティ |
| 4 | 星空のコンチェルト | 藤掛廣幸 |

< 曲目解説 >

☆ セレナーデ風ガボット

アメデオ・アマデイ作曲

アメデオ・アマデイは、1866年にイタリアのロレートに生まれ、1935年にトリノで没した作曲家です。祖父ピエトロ、父ロベルトと続く著名な音楽家の家系に生まれ、ボローニャの音楽学校にてピアノ、オルガン、合唱指揮を学び、20歳で卒業した後は合唱指揮やオルガニストとして活動し、各地の軍楽長を歴任しました。

作曲活動としては、管弦楽曲、吹奏楽曲、合唱曲など多岐にわたるジャンルの作品を500曲以上、うちマンドリン合奏曲を約100曲残しています。

また、1907年から2年間、ボローニャのマンドリン音楽専門誌「ヴィタ・マンドリニスティカ」の主幹も務めました。

彼の代表的な作品としては、「海の組曲」や「北欧のスケッチ」、そして今回第2部で演奏致します「中世の放浪学生」などがあります。

この作品は、1904年に発表された、彼の作品の中では比較的小規模な曲ですが、気品に溢れる優美な舞曲です。

☆ ミレーナ

マリオ・マチョッキ作曲

マリオ・マチョッキは、1874年にイタリアのローマに生まれ、1955年にフランスのパリで没した作曲家です。

幼少時より父親からギターとマンドリンの手ほどきを受け、後年、ローマの聖チェチリア音楽院などで音楽理論やマンドリンの他に作曲や指揮、チェロなどの楽器も学びました。

ローマで弦楽五重奏団のチェリストとして活動したのち、南米を経て、フランスに定住しました。

フランスのパリでは、1905年、マンドリン音楽専門誌「エステュディアンティーナ」を創刊し、多くの作品を発表するなど、マンドリン音楽の発展に大きく寄与しました。

彼の代表的な作品としては、「水車小屋の恋人たち」や「ミルタリア」などがあります。

「ミレーナ」とは、ロマ民族の女性の名前で 情感に満ちたチャルダッシュ音楽です。

☆ サハラのラクダ使い達

ヴィットリオ・チェルライ作曲

ヴィットリオ・チェルライという作曲家については、1884年に生まれ、1949年に没したという不確かなもの以外、殆ど情報がありません。

ただ、作品としては、「シエナ組曲」や「抒情的間奏曲」などが知られています。

「サハラのラクダ使い達」は、中近東の雰囲気の色濃く持った小曲です。

☆ 黄昏 ～前奏曲～

ディノ・ベルutti作曲

ディノ・ベルuttiは、1893年にイタリアのモンフェラートに生まれ、1947年に没した作曲家です。

非常に神経質な人柄で、その性格が作品にも影響したのか、情緒に富む一方で繊細かつ暗澹とした曲想を持つものが多く見られます。

「黄昏～前奏曲～」は、1930年に発表された作品で、「黄昏語る時」並びに「ハンガリアの黄昏」とともに「黄昏三部作」として知られている曲です。

＜ 出演メンバー ＞

第一部 指揮者	石井 明人			
第二部 客演指揮者	澤田 昇			
コンサートマスター	山崎 了三			
第一マンドリン	○ 山崎 了三 南 郁代	石橋 健嗣 横川 安世	植木 節子 内堀 均	酒井 かほる
第二マンドリン	○ 太田 雅子 島崎 美津江	石井 明人 白須 宏	伊藤 孝子 山崎 知子	大宮 康典
マンドラテノール	○ 村崎 薫 斉藤 紀子	石井 尚治 豊田 さゆり	大久保 健	平田 千恵子
マンドロンチェロ	○ 望月 洋子	田代 寿美代		
ギター	○ 市川 康子 前島 昌枝	山口 雅俊	柴田 多佳乃	須賀 順一
コントラバス	成澤 良洋			
ティンパニー	栗原 柊馬			
パーカッション	上野 美菜	小村 明花		
アナウンス	関 恵美			

＜ 客演指揮者プロフィール ＞

澤田 昇 昭和33年12月30日生 67歳

日本大学マンドリンクラブ、元コンサートマスター 大学卒業後、ミヤタ楽団に入団
マンドリンを宮田蝶子氏に師事、指揮を宮沢秀雄氏に師事
平成10年に澤田マンドリン教室を開業 プロとして演奏活動や、マンドリン教室で後進の指導をはじめ。群馬のプロ集団のゴンドラマンドリーノに参加

＜現在の演奏活動＞

川越マンドリンクラブ 指揮者並びにコンサートマスター

ルーチェマンドリンアンサンブル(川越) ピアチェーレマンドリンアンサンブル(立川)

下記クラブを指導、育成

初雁マンドリンクラブ(川越) ステラマンドリーノ(ふじみ野)

坂戸マンドリンクラブ(坂戸) ローザマンドリーノ(鶴ヶ島)

宮地楽器東大和センター講師 マンドリーノ・プリランテ客演指揮者

「一人でも多くの人にマンドリンを聴いてもらいたい、弾いてもらいたい」
と言う気持ちで、慰問演奏なども行なっている。

団員募集： マンドリンオリジナル曲を楽しみませんか
お問い合わせ・詳細はホームページをご覧ください
<https://m-brillante.com/>

